日本家庭科教育学会
第62回大会プログラム

期日:2019年6月29日(土)～6月30日(日)

会場:金城学院大学
〒463-8521 名古屋市守山区大森二丁目1723番地
http://www.kinjo-u.ac.jp/pc/index.html

大会事務局　上野顕子(大会実行委員長:金城学院大学)
〒463-8521 名古屋市守山区大森二丁目1723番地　金城学院大学
Tel： 052-798-0180（代表）
Email:kateika2019@kinjo-u.ac.jp

日程

6月29日(土)			
9:00～	受　付 (口頭発表データインストール6月29日分 及びポスター発表掲示:各発表会場)		
9:30 ～11:30	口頭研究発表		
	第1会場	第2会場	第3会場
	(N1-505)	(N1-506)	(N1-510)
	A1－1 ～A1－6	A2－1 ～A2－5	A3－1 ～A3－5
11:30 ～12:30	昼　食		
12:30 ～13:00	ポスタープレゼンテーション:奇数番号 (N1-603)		
13:10 ～14:00	総　会 (N1棟1階音楽ホール:リリーハーモニー)		
14:10 ～16:50	基調講演・シンポジウム (N1棟1階音楽ホール:リリーハーモニー) 「“未来をつくる力”と家庭科における生活リテラシー」 共催:金城学院大学消費生活科学研究所		
17:15 ～17:45	金城学院大学ハンドベルクワイア演奏会 (エラ・ヒューストン記念礼拝堂)		
18:00 ～20:00	懇親会 (N1棟1階食堂:リリーノース)		

6月30日(日)				
9:00～	受　付 (口頭発表データインストール6月30日分)			
9:30 ～11:30	口頭研究発表			
	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場
	(N1-505)	(N1-506)	(N1-510)	(N1-511)
	B1－1 ～B1－6	B2－1 ～B2－5	B3－1 ～B3－5	B4－1 ～B4－5
11:30 ～12:30	昼　食 新旧理事会(N1-513)			
12:30 ～13:00	ポスタープレゼンテーション:偶数番号 (N1-603)			
13:10 ～15:20	ラウンドテーブル 家庭科における「見方・考え方」の視点を踏まえた授業づくり			
	RT1	RT2	RT3	RT4
	(N1-505)	(N1-506)	(N1-510)	(N1-511)

※6月28日(金)15:00～17:00　理事会(W3-212会議室)
17:00～19:00　地区会代表者会議(W3-212会議室)
★6月29日(土) 9:30～17:00、30日(日)9:30～15:00　業者展示(N1棟6階ラウンジ)

目　次

研究発表
口頭発表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1
ポスター発表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　10

基調講演とシンポジウム・・・・・・・・・・　15

ラウンドテーブル・・・・・・・・・・・・・・・・・　16

金城学院大学ハンドベル・・・・・・・・・　17
クワイア演奏会

懇親会のご案内・・・・・・・・・・・・・・・・・　17

お知らせ
大会参加費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　18
昼食について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　18
宿泊等について・・・・・・・・・・・・・・・・・・　18
保育室について・・・・・・・・・・・・・・・・・・　18

研究発表をされる方への連絡事項
口頭研究発表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　19
ポスター研究発表・・・・・・・・・・・・・・・・・　20

会場配置図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　21

金城学院大学キャンパスマップ・・・・・　22

金城学院大学までのアクセス・・・・・・・　23

研究発表

【口頭発表】（発表番号のＡは第１日目、Ｂは第２日目）

【6 月 29 日（土）】第１会場（N1-505）

【午前 9：30～10：30】座長：鎌田　浩子（北海道教育大学釧路校）

A1－1	小・中学校家庭科室の使用状況 －衛生・安全の視点から－	東京学芸大学(院生) 東京学芸大学教育学部 東京学芸大学教育学部 東京学芸大学附属高等学校(元) 東京学芸大学附属高等学校 東京学芸大学附属小金井小学校	○石津みどり 倉持清美 藤田智子 阿部睦子 桑原智美 西岡里奈
A1－2	家庭科の学びと高大接続 －授業導入時の新聞ノートの実践－	愛知工業大学名電高等学校	○内海那保子
A1－3	高等学校家庭科における「家族」に関する発言への抵抗感	東京学芸大学（院生） 東京学芸大学教育学部	○佐藤安沙子 藤田智子

【午前 10：30～11：30】座長：堀江　さおり（秋田大学）

A1－4	若者の自立支援の内容を組み込んだ生活設計の授業 －契約についての事例を用いた授業の試み－	千葉県立流山おおたかの森高等学校 千葉大学教育学部	○仲田郁子 久保桂子

A1－5	領域・人・実生活における実践とのつながりを重視した金銭教育 －話し合い場面における生徒のICT 活用－	弘前大学教育学部	○加賀恵子
A1－6	高等学校「家庭基礎」におけるホームプロジェクトを軸にしたカリキュラムの検討 －課題発見のための学習プロセスを重視した授業展開による成果と課題－	広島大学大学院教育学研究科（院生） 広島大学大学院教育学研究科	○中村誉子 鈴木明子

【6 月 29 日（土）】第 2 会場（N1-506）

【午前 9：30～10：30】座長：伊波　富久美（宮崎大学）

A2－1	調理科学を学ぶ教材としてのハンバーグ調理の可能性 －中学校調理実習における引き算ハンバーグの試み－	静岡県富士市立田子浦中学校 埼玉大学 教育学部	○望月朋子 河村美穂
A2－2	みそ汁の学習にみる「応用可能力」の習得	埼玉県伊奈町立小針北小学校 埼玉大学教育学部	○石川万記子 河村美穂
A2－3	自ら考え、判断し、表現する力を育成するための調理学習のあり方 －小学校知的障害学級児童の「みそ汁を作ろう」の実践から－	千葉市立院内小学校 千葉大学（院生） 家政・家庭科教材研究所 家政・家庭科教材研究所 家政・家庭科教材研究所	○川又俊亮 髙山さやか 庄司佳子 内野紀子 佐藤文子

【午前 10：30～11：10】座長：山本　奈美（和歌山大学）

A2－4	家庭科の調理実習におけるアクティブラーニング －指導と生徒の学び－	千葉県千葉市立末広中学校	○内藤利枝子
A2－5	学童期までの食育経験による食行動・意識の違い －家庭科教育と地域･家庭との連携の検討－	愛知学泉大学　家政学部	○森山三千江

【6 月 29 日（土)】第 3 会場（N1-510）

【午前 9：30～10：30】座長：磯﨑　尚子（富山大学）

A3－1	小学校家庭科における被服製作に対する児童の学習意識の変容 －先行調査との比較－	東京学芸大学(院生)	○渡邉真弓
A3－2	小学校家庭科における縫製技能習得の適時性に関する研究 －縫製経験に関する調査の分析と学習効果の検証より－	島根大学教育学部附属義務教育学校 広島大学大学院教育学研究科	○竹吉昭人 鈴木明子
A3－3	小学校家庭科の課題解決能力を育む指導の実態と課題 －調理および製作学習に着目して－	佐賀大学大学院学校教育学研究科 広島大学大学院教育学研究科 佐賀大学教育学部 広島大学大学院教育学研究科（院生）	岡陽子 ○鈴木明子 萱島知子 梶山曜子

【午前 10：30～11：10】座長：土岐　圭佑（北海道教育大学釧路校）

A3－4	日中の小学校教師による授業の相互評価の分析 －「ボタン付け」の授業事例をもとに－	広島大学大学院教育学研究科（院生） 福岡教育大学教育学部 広島大学大学院教育学研究科	○魏暁敏 貴志倫子 鈴木明子
A3－5	中学校「家庭科」被服製作におけるデジタル教材の効果 －左利き教材への応用を含めて－	武庫川女子大学生活環境学部生活環境学科 武庫川女子大学教育学部教育学科 川崎市立川崎高等学校附属中学校	○末弘由佳理 吉井美奈子 藤澤泰行

【6 月 30 日（日）】第 1 会場（N1-505）

【午前 9：30～10：30】座長：西原　直枝（聖心女子大学）

B1－1	事例に見る宮城県の小学校の震災時の対応と学校防災マニュアルへの相違	山形大学地域教育文化学部 東京学芸大学（元） 武庫川女子大学教育学部	○石垣和恵 大竹美登利 吉井美奈子
B1－2	「教科等横断的学習」実践校にみる家庭科教育の位置 －防災系専門学科設置校「宮城県多賀城高校」を事例として－	上越教育大学大学院学校教育研究科	○佐藤ゆかり
B1－3	中学校家庭科における食生活分野を中心にした領域横断型授業の試み	東京大学教育学部附属中等教育学校（非）	○楢府暢子

－災害をサブテーマにして－

【午前 10：30～11：30】座長：小島　郷子（高知大学）

B1－4	持続可能な共生社会における若者の自立を促すための家庭科教育のあり方 －高等学校家庭科「家庭基礎」と公民科「公共」の学習内容の連携－	共立女子大学家政学部(非)	○小野瀬裕子
B1－5	子どものシティズンシップを形成するコミュニティの特質と家庭科での展開可能性	北海道教育大学教育学部釧路校	○土岐圭佑
B1－6	小学校家庭科における異年齢交流授業での児童の意識変化	東京学芸大学附属小金井小学校 東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科（院生）	○西岡里奈
		東京学芸大学教育学部	倉持清美
		東京学芸大学附属高等学校(元)	阿部睦子
		埼玉県さいたま市立岸中学校	金子京子
		日本女子大学	望月一枝
		香川大学教育学部	妹尾理子

【6 月 30 日（日）】第 2 会場（N1-506）

【午前 9：30～10：30】座長：小高　さほみ（上越教育大学）

B2－1	都道府県における家庭科教員研修に関する調査 －調査の目的と全体像－	青森県立青森西高等学校	○木村紀子
		山梨大学大学院総合研究部教育学域	志村結美
		愛知教育大学教育学部	青木香保里
		弘前大学（元）	日景弥生
		大阪教育大学(非)	小倉育代
		弘前大学教育学部	加賀恵子
		北海道教育大学教育学部	鎌田浩子
		鹿児島大学教育学部	黒光貴峰
		静岡大学教育学部	小清水貴子
		広島大学大学院教育学研究科	鈴木明子
		香川大学教育学部	妹尾理子
		函館短期大学食物栄養学科	手塚貴子
		奈良教育大学	村上睦美
		椙山女学園大学教育学部	室雅子
B2－2	都道府県における家庭科教員研修に関する調査 －指導主事からみる研修観－	愛知教育大学教育学部	○青木香保里
		山梨大学大学院総合研究部教育学域	志村結美
		青森県立青森西高等学校	木村紀子
		弘前大学（元）	日景弥生
		大阪教育大学（非）	小倉育代
		弘前大学教育学部	加賀恵子

		北海道教育大学教育学部	鎌田浩子
		鹿児島大学教育学部	黒光貴峰
		静岡大学教育学部	小清水貴子
		広島大学大学院教育学研究科	鈴木明子
		香川大学教育学部	妹尾理子
		函館短期大学食物栄養学科	手塚貴子
		奈良教育大学	村上睦美
		椙山女学園大学教育学部	室雅子
B2－3	高校家庭科における非正規教員の支援に関する研究 －京都府立高校の事例を対象として－	京都教育大学教育学部 京都府立高校（元）	井上えり子 〇杉本佳子

【午前 10：30～11：10】座長：　正保　正惠（福山市立大学）

B2－4	家庭科教師の自伝的ナラティヴにおける職業生活経験と個人的生活経験	鹿児島大学教育学系 埼玉大学教育学部	〇瀬川朗 河村美穂
B2－5	『復刻版家庭部会報』にみる高校家庭科教育観と役割の変遷	東洋大学（院生）	〇計良智子

【6 月 30 日（日）】第 3 会場（N1-510）

【午前 9：30～10：30】座長：若月　温美（東葉高等学校）

B3－1	小学校における実験型ジグソー法による住環境に関する授業指針の	新潟大学教育学部 静岡大学学術院教育学	〇飯野由香利 小川裕子

	提示	領域 浦和大学こども学部 さいたま市立岸中学校	 伊深祥子 金子京子
B3－2	実践者の視点からの授業づくり －小学校における住環境に関する実験型ジグソー法による授業－	浦和大学　こども学部 さいたま市立岸中学校 新潟大学教育学部 静岡大学学術院教育学領域	○伊深祥子 金子京子 飯野由香利 小川裕子
B3－3	ジグソー法で学ぶ小学校家庭科の住生活の授業開発 －児童の記述分析から－	さいたま市立岸中学校 浦和大学こども学部 新潟大学教育学部 静岡大学学術院教育学領域	○金子京子 伊深祥子 飯野由香利 小川裕子

【午前 10：30～11：10】座長：浅井　玲子（琉球大学）

B3－4	生活場面で実践できる力の実態と課題 －住生活の学習に関する能力の育成－	静岡大学教育学部 静岡大学（元） 常葉大学教育学部 椙山女学園大学教育学部 伊賀市立玉滝小学校 津市立東観中学校 三重大学教育学部	○小川裕子 吉原崇恵 星野洋美 室雅子 安場規子 吉岡良江 吉本敏子
B3－5	「地域」に関する学習の家庭科の位置づけ －小学校新学習指導要領の全教科等との比較より－	兵庫教育大学大学院 学校教育学研究科	○花輪由樹

【6 月 30 日（日）】第 4 会場（N1-511）

【午前 9：30～10：30】座長：福井　典代（鳴門教育大学）

B4－1	日本家庭科教育学会誌における「生活文化」研究の動向	文教大学付属中学校・高等学校 埼玉大学教育学部	○椎谷千秋 河村美穂
B4－2	「銘仙」を中心に据えたキモノ文化の学習開発支援 －足利銘仙の教材化に向けて－	放送大学広島学習センター（非）	○柴静子
B4－3	市販の灰汁を用いた綿布の藍の生葉染めに関する研究	鹿児島大学教育学部	○瀬戸房子

【午前 10：30～11：10】座長：永田　智子（兵庫教育大学）

B4－4	家庭科教育における「ふるさと学習材」の開発	愛知教育大学教育学部(非)	○伊澤優子
B4－5	フィンランドにおける家庭科授業の実態	京都女子大学	○表真美

【ポスター発表】

会場　N1-603

掲示期間　【6 月 29 日（土）】9:30～17:00　　【6 月 30 日（日）】9:30～15:40
プレゼンテーション
【6 月 29 日（土）12:30～13:00】奇数番号
【6 月 30 日（日）12:30～13:00】偶数番号

P01	中学校家庭科における生活時間を教材とした授業実践	千葉県立柏中央高等学校 千葉大学教育学部	○鎌野広子 中山節子
P02	玉ねぎ外皮を用いた綿布染色への前処理剤の効果 －豆乳および緑茶前処理の検討－	北海道教育大学教育学部	○小松恵美子
P03	小学校教員養成における教科教育と教科内容を統合する授業内容の構築 －岡山大学教育学部家政教育講座における初等家庭科授業研究･内容研究による「教科内容構成力」育成の検討－	岡山大学大学院教育学研究科 岡山大学大学院教育学研究科	○佐藤園 篠原陽子
P04	家庭科における環境教育の体験型授業プログラムの開発と評価	東京家政大学家政学部 東京ガス(株) 東京家政家政学部（非） 東京家政大学大学院人間生活総合研究科	○赤石記子 三神彩子 長尾慶子
P05	カテイカガイドブックの小学校児童への教育的効果	千葉大学教育学部 埼玉大学教育学部	○伊藤葉子 河村美穂

		金城学院大学生活環境学部	上野顕子
		常葉大学教育学部	星野洋美
P06	家庭科教育における「生活課題」の学習指導の検討 －大学生の調査をもとに－	福島大学人間発達文化学類	○角間陽子
P07	日本につながる子どもたちが日本の生活文化を学ぶ －４人の事例より－	バーナビー日本語学校 埼玉大学教育学部	○長拓実 河村美穂
P08	高等学校家庭科における児童虐待予防教育についての一考察 －保育分野を学習する生徒への質問紙調査を基に－	大阪総合保育大学（院生）	○田吹和美
P09	高等学校家庭科における「性の多様性」に関する授業実践研究	愛媛大学（院生） 愛媛大学教育学部	○西岡里奈 藤田昌子
P10	衣生活領域における伝統文化に関する教科書分析	鳴門教育大学（院生） 鳴門教育大学大学院学校教育研究科 鳴門教育大学大学院学校教育研究科	○福井ともこ 速水多佳子 福井典代
P11	小学校家庭科のふれ合い体験に求められる視点 －小･中学生へのアンケート結果の比較から－	川村学園女子大学生活創造学部 東京学芸大学教育学部	○叶内茜 倉持清美
P12	異文化理解を深める調理実習の教育効果	函館短期大学食物栄養学科	○手塚貴子

	－私立 T 高等学校の授業実践事例を中心として－	東京農業大学第一高等学校	佐々木麻衣
P13	イギリスの中等学校における食生活に関する学習 －「健康」と「調理技術の向上」を視点として－	東京学芸大学	○渡瀬典子
P14	家庭科における消費生活･環境領域の現状と課題	信州大学（院生） 信州大学教育学部	○市川幸奈 鄭暁静
P15	小学生向け省エネ教育プログラムの開発と教育効果の検証	東京ガス株式会社 東京家政大学家政学部（非） 東京家政大学家政学部 東京家政大学大学院人間生活学総合研究科	○三神彩子 赤石記子 長尾慶子
P16	環境配慮意識の向上を目指した古着リメイクの実践と検証 －中学生対象の衣生活と環境を融合させた学習指導の試み－	信州大学大学院教育学研究科	○福田典子
P17	中学校「技術・家庭」家庭分野の教科書におけるジェンダー分析	信州大学教育学部 茨城県つくば市立小野川小学校	○鄭暁静 佐々木茉陽
P18	家庭科における「防災・災害に関する食教育」指導の意義 －家庭科教員対象質問紙調査の結果から－	兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科（院生） 兵庫教育大学大学院	○小林裕子 永田智子

P19	中学校家庭科における伝統文化としての「茶道」の教材化に関する研究	北海道教育大学教育学部旭川校 北海道紋別市立潮見中学校	○川邊淳子 伊藤大貴
P20	中学校家庭分野「家族関係」を題材にした問題解決学習における INS モデルの適用可能性	兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科(院生) 兵庫教育大学大学院学校教育学研究科	○村田晋太朗 永田智子
P21	高校家庭科の授業研究研修会の意義と効果 －研修会参加者の記述分析より－	千葉県私立東葉高等学校 千葉県立流山おおたかの森高等学校	○若月温美 仲田郁子
P22	360 度ビデオカメラを活用した中学校家庭科グループ調理における学び分析の試み	兵庫教育大学大学院学校教育研究科 兵庫教育大学附属中学校 兵庫教育大学学校教育研究科連合大学院 兵庫教育大学学校教育研究科連合大学院	○永田智子 相川美和子 村田晋太朗 小林裕子
P23	調理実習における問題解決型事前学習の検討	金城学院大学消費生活科学研究所（研究員）	○瀧日滋野
P24	家庭科教員養成課程に所属する女子大学生の食生活に関する意識調査 －次世代への影響に関する理解の検討－	福山大学生命工学部 広島大学大学院教育学研究科 進徳女子高等学校 広島大学大学院教育学	○柴田紗知 海切弘子 福田明子 松原主典

		研究科	
P25	小中学生の消費生活に関する意識・知識	東京学芸大学教育学部 東京学芸大学（院生） 東京学芸大学附属小金井小学校	○藤田智子 石津みどり 西岡里奈

【基調講演とシンポジウム】

6 月 29 日(土)14：10～16：50　金城学院大学 N1 棟 1 階音楽ホール：リリーハーモニー

共催：金城学院大学消費生活科学研究所

テーマ：“未来をつくる力”と家庭科における生活リテラシー

趣旨：家庭科では子どもたちに“未来をつくる力”を育成することをひとつの目標としている。日本家庭科教育学会特別研究委員会「家庭科未来プロジェクト」の調査では、よりよい生活を営むために必要な自立、共生、消費、環境に関わる生活実践・活用能力を“生活リテラシー”と捉えて、分析・考察を行い、報告論文が学会誌第 61 巻 1 号～3 号に掲載された。これを踏まえ、2018 年度例会では、「家庭科未来プロジェクト」が捉えた生活リテラシーや、小・中・高等学校の実践が報告され、参会者は生活リテラシーが家庭科教育の目標と深くかかわっていることを共有した。しかし、家庭科における生活リテラシーについての議論はまだ十分ではない。

そこで、本基調講演とシンポジウムでは、「“未来をつくる力”と家庭科における生活リテラシー」というテーマを設定した。

基調講演　**リテラシー概念はどのように展開してきたか**
：よりよい生活を営む力の育成をめざして

樋口　とみ子　氏　（京都教育大学）

講師プロフィール:教育方法学専攻。学校教育を通して子どもたちに育てたいものとは何かについて、学力やリテラシーという言葉に着目して研究している。最近では、コンピテンシーや資質・能力をめぐる動向にも関心をもっている。京都大学大学院教育学研究科博士後期課程修了。日本学術振興会特別研究員、京都教育大学講師を経て、現在、准教授。博士（教育学)。

主な著書:共著『〈新しい能力〉は教育を変えるか』ミネルヴァ書房、2010 年。
共著『戦後日本教育方法論史』ミネルヴァ書房、2017 年。
共著『教育方法と授業の計画』協同出版、2017 年。など

シンポジウム　**「“未来をつくる力”と家庭科における生活リテラシー」**

パネリスト	赤塚　朋子　氏	(宇都宮大学)
	安藤　哲也　氏	(NPO 法人ファザーリングジャパン代表理事)
	樋口とみ子　氏	(京都教育大学)
コーディネーター	河村　美穂　氏	(埼玉大学)

【ラウンドテーブル】(公開)

6 月 30 日（日）13：10～15：20

金城学院大学 N1-505(RT1)、 N1-506(RT2)、 N1-510(RT3) 、 N1-511(RT4)

テーマ：家庭科における「見方・考え方」の視点を踏まえた授業づくり

趣旨

新学習指導要領においては、生活の営みに係る見方・考え方を働かせながら実践的・体験的に学び、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することが目標として示されている。そこで、「協力・協働」「健康・快適・安全」「生活文化の継承・創造」「持続可能な社会の構築」の４つの見方・考え方の視点に沿った実践報告を参考に、見方・考え方の視点を踏まえた授業づくりについて協議する場としたい。

RT１（会場：Ｎ１-505）　「協力・協働」の視点を踏まえた授業づくり

報　告　者　：　武藤　良子　氏（愛知教育大学附属岡崎中学校）
吉岡　良江　氏（三重県津市立東観中学校）

司 会 進 行　：　吉本　敏子　氏（三重大学）
山根　真理　氏（愛知教育大学）

RT２（Ｎ１-506）　「健康・快適・安全」の視点を踏まえた授業づくり

報　告　者　：　曽我　恵美　氏（愛知県刈谷市立南中学校）
佐貫　浩子　氏（静岡大学教育学部附属島田中学校）

司 会 進 行　：　磯部　由香　氏（三重大学）
小川　裕子　氏（静岡大学）

RT３（会場：Ｎ１-510）　「生活文化の継承・創造」の視点を踏まえた授業づくり

報　告　者　：　中村　由紀子　氏（三重県松阪市立宮前小学校）
堀池　美衣　氏（静岡大学教育学部附属静岡中学校）

司 会 進 行　：　平島　円　氏（三重大学）
小清水　貴子　氏（静岡大学）

RT４（会場：Ｎ１-511）　「持続可能な社会の構築」の視点を踏まえた授業づくり

報　告　者　：　横山　真智子　氏（各務原市立桜丘中学校）
山田　陽子　氏（岐阜県立東濃実業高等学校）

司 会 進 行　：　増田　智恵　氏（三重大学）
夫馬　佳代子　氏（岐阜大学）

【ご案内】

【金城学院大学ハンドベルクワイア演奏会】

日時:6 月 29 日(土) 17:15～17:45
会場:金城学院大学 エラ・ヒューストン記念礼拝堂
住所:〒463-8512 愛知県名古屋市守山区大森 2-1723
TEL : 052-798-0180
※大会会場 N1棟1階の入り口を出た左手正面の礼拝堂で行います。
シンポジウム終了後にご案内します。

【懇親会】

日時:6 月 29 日(土) 18:00～20:00
会場:金城学院大学 N1 棟食堂 リリーノース
住所:〒463-8512 愛知県名古屋市守山区大森 2-1723
TEL : 052-798-0180
会費:6,000 円
名古屋の料理と飲み物をお楽しみ下さい！
※大会会場 N１棟１階です。シンポジウムおよび演奏会終了後にご案内します。

【お知らせ】

●大会参加費　正会員　5, 000 円（当日は 6, 000 円）
学生会員　3, 000 円（当日は 3, 500 円）
非会員　6, 000 円
学生非会員　3, 500 円
非会員の 1 日参加費　2, 500 円（要旨集別売り　1, 000 円）
学生非会員の 1 日参加費　1,500 円（要旨集別売り　1,000 円）

＊6 月 30 日（日）13：10～15：20「ラウンドテーブル」のみの参加は無料
事前参加申込期間は、6 月 7 日（金）までです。

●昼食について

弁当（1, 000 円お茶つき）を希望される方は、事前にお申込み下さい。昼食時間に休憩室でお渡しします。大会中、食堂は開いておりません。大学周辺には飲食店がほとんどないので、弁当の利用をお勧めします。

●宿泊等について

お早めにスケジュールにあわせて、各々で確保していただきますようお願い致します。名古屋駅周辺にもホテルはありますが、名鉄瀬戸線を利用しやすい栄町駅付近（栄地区）にあるホテルが便利です。

●保育室（保育預かり）について

金城学院大学内の施設を大会期間中の保育室とします。託児を希望される方は、保育室担当へ、6 月 7 日（金）までに、メールにて申し込みください。その際、メールの件名を「託児利用申し込み」とし、下記の（1）～（4）の内容を記載してください。申し込みをされた方には、託児施設の利用に関するご案内をメールでお送りします。 費用は、1 時間あたり 500 円です。

キャンセルされる場合は、6 月 22 日（土）18 時までに、件名を「託児利用キャンセル」とし、申し込み者のお名前を明記の上、メールにてご連絡ください。

【申し込み先】　保育室担当　横山　真智子 e-mail　:kateika2019@kinjo-u.ac.jp

≪件名≫　　託児利用申し込み
≪申し込みメールに記載する事項≫
（１）利用者（保護者）氏名、連絡先電話番号
（２）お子様の氏名、性別、年齢（月齢）
（３）託児施設利用予定日時、合計時間
（４）特別な配慮が必要な場合、その内容

【研究発表をされる方への連絡事項】

【口頭研究発表】

1. 口頭研究発表のための資料は、パワーポイントおよび印刷物とします。
2. パワーポイントをご使用になられる方へ
   ①各発表会場に用意するパソコンソフトは、 Windows 版 PowerPoint2016 です。
   ②ファイル名は次のようにして下さい。
   半角文字で発表番号、 全角で発表者名の順（例：A1-1 佐藤）
   ③ファイルは、ウィルスチェックをすませた USB フラッシュメモリに保存してご持参いただき、以下のように、各自でパソコンにコピーしてください。
   1 日目発表：6 月 29 日（土）：9：00～9：20（各会場にて）
   2 日目発表：6 月 30 日（日）：9：00～9：20（各会場にて）
   ④パワーポイントの操作は発表者が行って下さい。
   ⑤パソコンにコピーしたファイルは、大会終了日に消去します。
3. 配付資料は、 発表番号と氏名を明記し、必ず 100 部用意して、発表直前に会場係にお渡し下さい。会場係が参加者に配付致します。余った資料は、会場内の資料置き場に置いておきます。
4. パワーポイントを使用される場合でも、機器に不具合が生じた時のために、印刷物を 100 部ご用意ください。
5. 口頭発表の時間は 15 分、質疑応答の時間は 5 分です。この時間には、資料配付等も含んでいます。発表時間が厳守されないとスケジュールが乱れますから、 是非ご協力をお願いいたします。
6. 口頭発表開始 13 分後に 1 鈴、15 分後に2鈴、20 分後に3鈴をもって終了の合図とします。

7. 発表中止の場合は、できるだけ早めに、大会前の場合は学会事務局へ連絡ください。大会当日は、会場での電話受付はできませんので、大会に参加する方に連絡をとるなどして、大会実行委員会事務局にお知らせいただけるようにお願いします。発表中止があった場合でも、その後の口頭発表時間の繰り上げはいたしません。

【ポスター研究発表】

1. ポスターは、パネルボード縦 140cm、横 70cm 以内のサイズでご準備下さい。
2. 指定されたポスター発表番号場所に、発表番号・演題目・所属・氏名・説明文・図・表・写真など、自由にレイアウトしてください。
3. ポスターの掲示は、29 日と 30 日の両日です。すべての発表者が 29 日（土）の下記時間に掲示してください。

   6 月 29 日（土）　9:00～9:30
4. ポスターは、会場に用意してあるマスキングテープで貼付してください。パネルボードは、マグネットでの貼り付けも可能です。マグネットを使用する場合は、発表者がご準備下さい。
5. 発表者は、ポスタープレゼンテーション時間帯には、ポスター傍に待機してください。

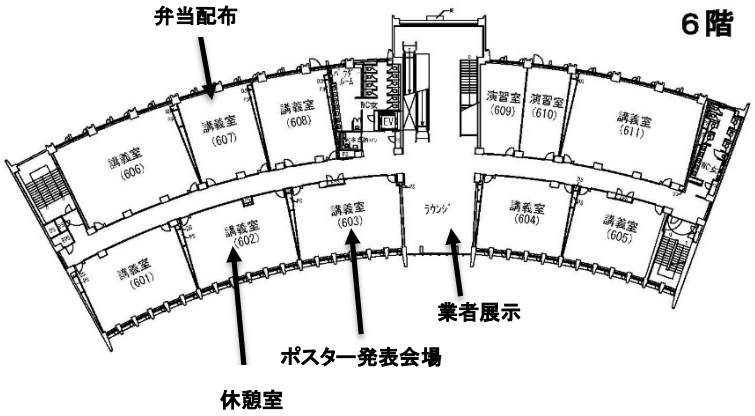
   奇数番号プレゼンテーション：6 月 29 日（土） 12：30～13：00

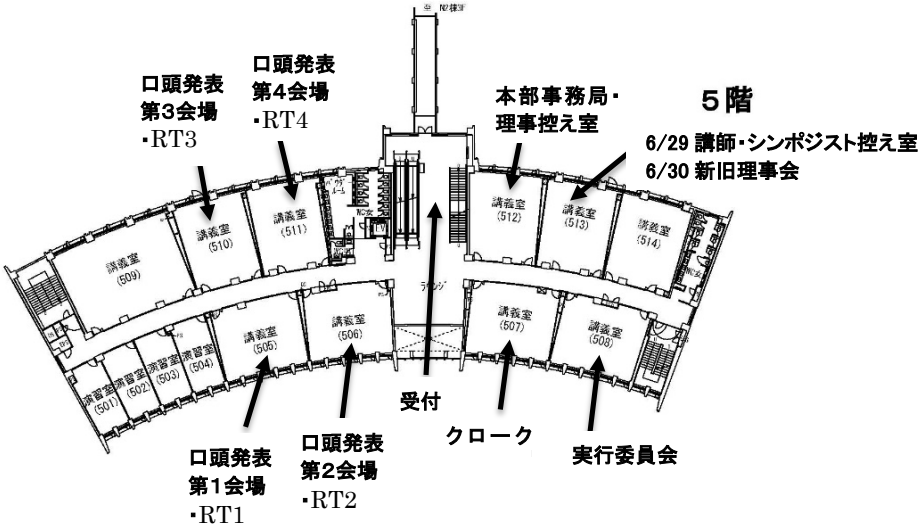
   偶数番号プレゼンテーション：6 月 30 日（日） 12：30～13：00
6. ポスターの撤収は、下記の時間に各自で行ってください。

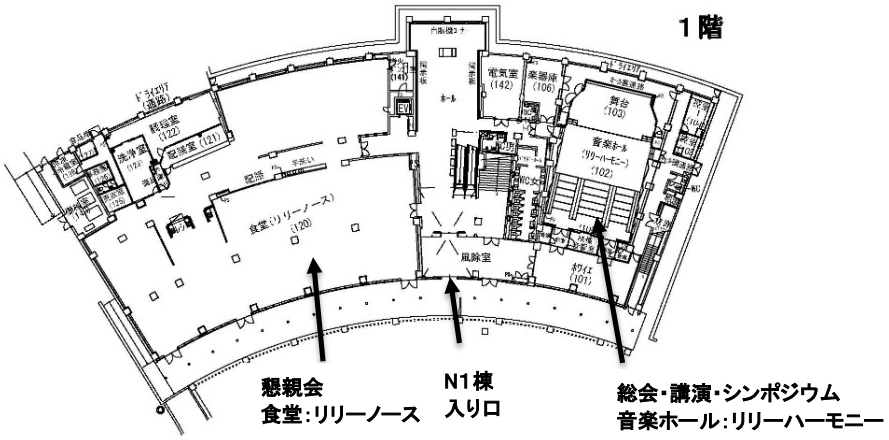
   6 月 30 日(日) のプレゼンテーション終了後～15：40

   所定の時間にポスターを撤収することができない発表者は、ご自身で大会に参加する方などに依頼し、ポスターを撤収するようにお願いいたします。撤収時間を過ぎても残っているポスターは、実行委員会が撤収・処分いたしますのでご了承ください。

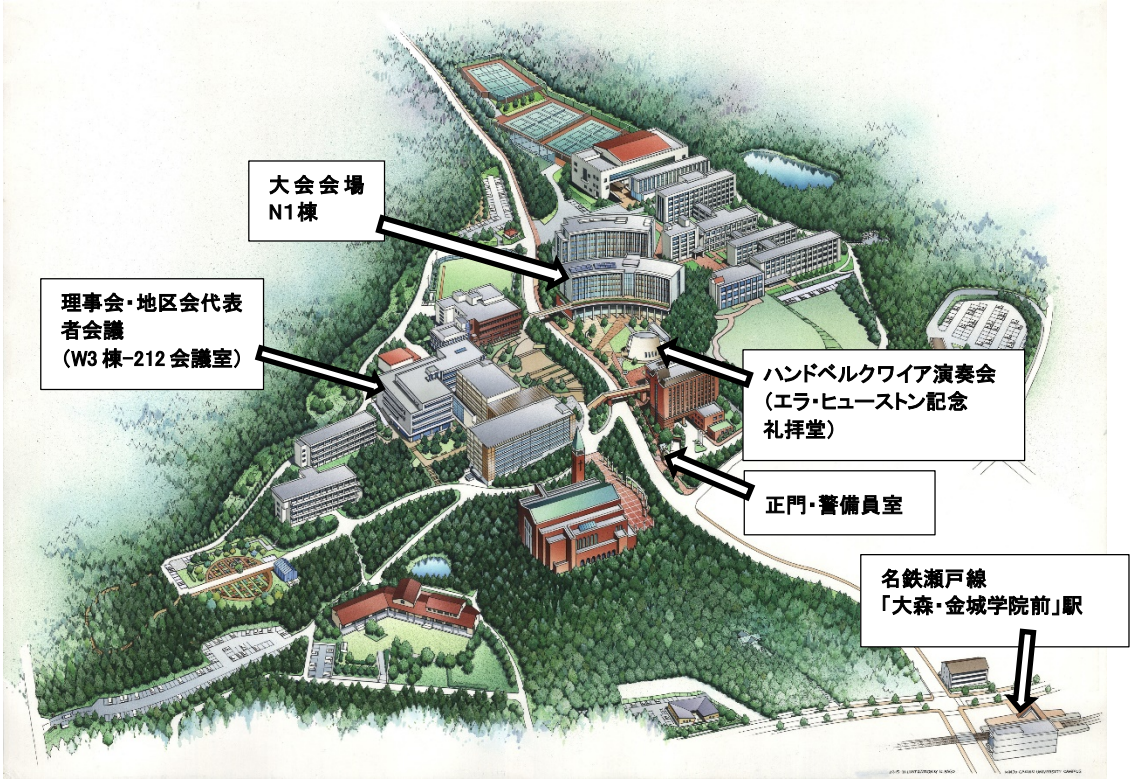
【会場 N1棟配置図】


弁当配布
6階
講義室(606)
講義室(607)
講義室(608)
演習室(609)
演習室(610)
講義室(611)
講義室(601)
講義室(602)
講義室(603)
ラウンジ
講義室(604)
講義室(605)
業者展示
ポスター発表会場
休憩室

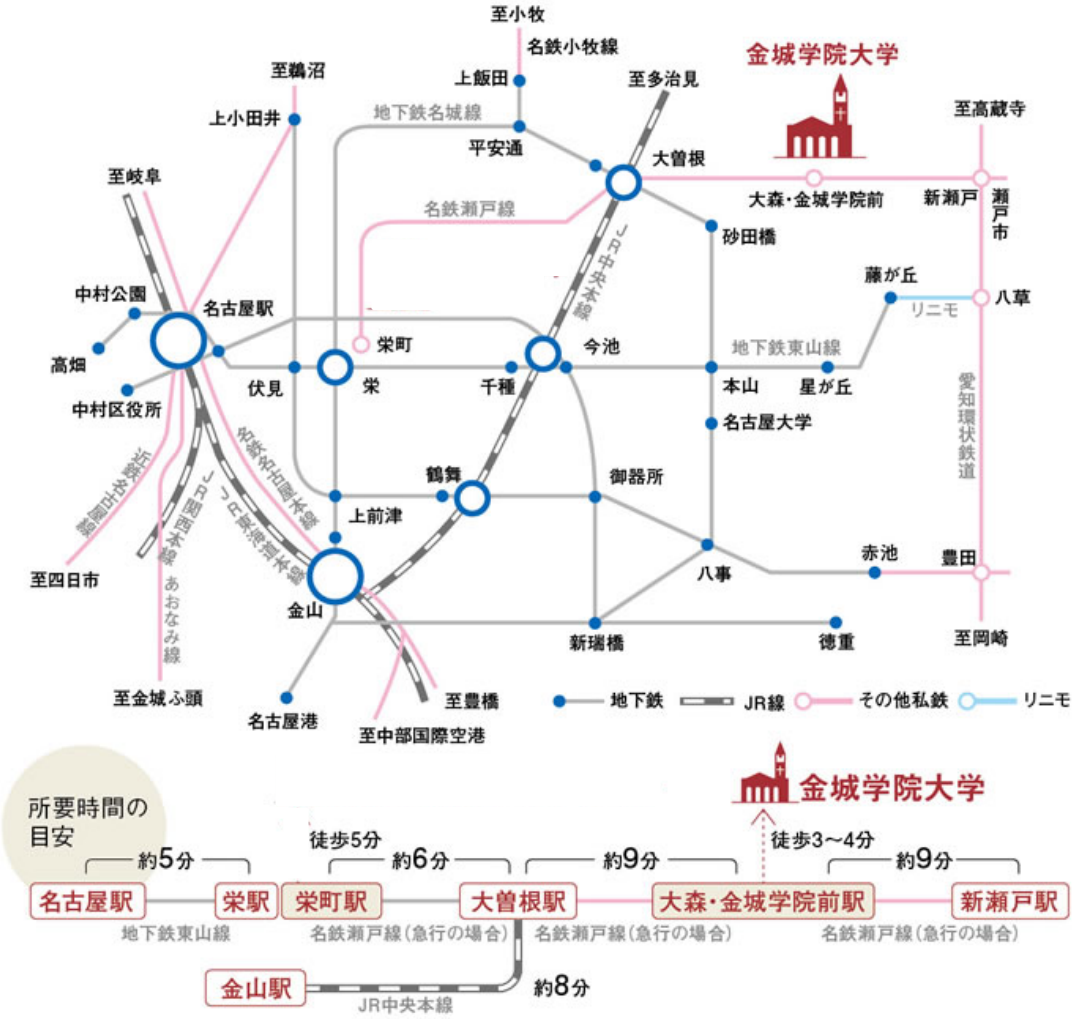

口頭発表
第3会場
・RT3
口頭発表
第4会場
・RT4
本部事務局・
理事控え室
5階
6/29 講師・シンポジスト控え室
6/30 新旧理事会
講義室(509)
講義室(510)
講義室(511)
講義室(512)
講義室(513)
講義室(514)
演習室(501)
演習室(502)
演習室(503)
演習室(504)
講義室(505)
講義室(506)
講義室(507)
講義室(508)
受付
クローク
実行委員会
口頭発表
第1会場
・RT1
口頭発表
第2会場
・RT2


1階
電気室(142)
楽器庫(106)
舞台(103)
音楽ホール(リリーハーモニー)(102)
ホール
風除室
食堂(リリーノース)(120)
懇親会
食堂:リリーノース
N1棟
入り口
総会・講演・シンポジウム
音楽ホール:リリーハーモニー

【金城学院大学キャンパス建物配置図】



【金城学院大学までのアクセス】



名古屋駅からのアクセス：

地下鉄東山線・藤が丘行に乗車し、「栄」駅で下車。名鉄瀬戸線「栄町」駅より尾張瀬戸行に乗り換え、「大森・金城学院前」駅で下車。降りたホームにある無人改札を出て、左側に進み、信号を渡り、坂を上がってください（徒歩 3～4 分）。

＊公共交通機関でお越しください。障がい者等、車での参加が必要な方は事前に大会事務局にご連絡ください。